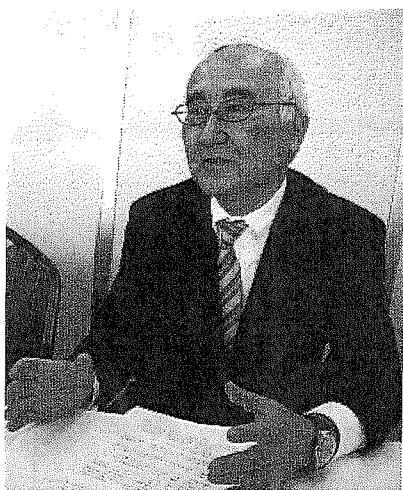


少額短期保険14年度の事業展開

メモリード・ライフ

古川誠社長

株主の互助会グループとのシナジー効果で利益を上げてきたメモリード・ライフは、グループ外販売チャネルの業績拡大を目指し、営業支援体制強化に一昨年から取り組んできたが、今年度はさらに力を入れる。昨年度に刷新した事務システムの代理店での活用も推進し、事務手続きや支払いの短縮化につなげたいという古川誠社長は、昨年度の振り返りと今年度の事業戦略について聞いた。



古川社長

——昨年度の業績について。

古川 収入保険料ペースでは、対前年約20%増の12億円超となり順調に拡大している。保有契約件数ベースでみると、包括移転で引き続き無認可共済の満了による減少がある中、約1万2000件の新契約を獲得したことで、年度末で3万8000件となり対前年で約13%伸びた。当期純利益は1億4722万円、対前年97%となったが、これは利益が大きい無認可共済の消滅が影響したものの、少額短期保険ビジネスに限定すると増益となっている。

グループ外チャネルに注力

「89歳まで入れる定期」を全面に

代理店のサポートを強化した。——その次のポイント。古川 2点目は、包括移転で引き続き無認可共済の満了に伴う保有減少の歯止めだ。6年満期の無認可共済は、創業6年目の昨年度に全契約が満了となった。一方で、

古川 全契約書類をOCR化するシステム化を行った。今後の保有契約拡大に伴う処理コスト増を防ぐためだ。全書類の画像がバーコードで管理されており、当社だけでなく一部の代理店でも閲覧ができる。支払いや申し込みなど諸手続きを短縮した。

古川 株主の互助会メモリードグループの販売チャネルが全体の97%を占めている。グループ外の互助会が全体の3%程度。その他、生損保大規模代理店やネット直販などもあるが、共にわずかだ。

古川 内部統制の面では、現在、苦情処理や事故案件については紙ベースで各担当部署への報告となっているが、今後はデータ化することで、担当部署間で共有できるシステムをつくりたい。検

古川 マスコミでも多く取り上げられ問い合わせも多く、市場の反応は良いが現在の保有は50件ほど。プレックするきっかけがあれば今後大きく。

古川 グループ外の占率を高めるためにも、引き続き、メモリードグループと同様にグループ外の代理店への販売支援を強化する。下期からは担当者が現地に行き指導・同行する日を増やし、グループ外の業績をさらに伸ばしていく。新しい市場も積極的に開拓して、その市場に適した商品を開発する。昨年度にテスト的に行ったラジオCMの反応が良かったので、今年度は関東を含めて全国各地で展開する。「89歳まで入れる定期保険」という当社商品の特長を全面に打ち出していく。

古川 今年度は少額創業から7年目で、企業として一つの節目と考えている。グループ企業への依存度を少しずつ減らし、自立した経営を目指す。規模が小さいながらも、徹底した効率経営の追求と創意工夫で、お客さまに対する最大のサービスである低価格の実現に挑戦していく。

——昨年度、注力したことは。古川 営業面で、1点目はこれまで株主の互助会チャネルに依存してきた面があるので、それ以外のチャネルの販売支援体制を強化した。当社では、グループ外の互助会大手2社、中堅1社と提携しているが、規模に応じた業績がまだ上がっていない。専任の担当者を置き、これらグループ外

営業開始から2年目、3年目と新契約の伸びが鈍化していたので、保有契約件数の減少が危ぶまれたが、是が非でも防ぐという覚悟で取り組んだ。共済契約者は高齢者が多いことから切り替えの保険料は高額となるが、当社商品の価格競争力が威力を発揮し、それなりの成果が挙げられた。

——事務面での改善は。古川 人事異動

人事異動 NKSJホールディングス(9月1日)▽理事・経理部長花田秀則▽理事・広報部長片山郁夫(販売制度室長)

日本興亜損保(8月1日) 理事・販売制度室長山本学▽企業商品業務部長長尾付特命部長(損保ジャパン)日本興亜リスクマネジメント)渡辺郁夫(販売制度室長)

損保ジャパン(8月1日) 理事・販売制度室長山本学▽企業商品業務部長長尾付特命部長(損保ジャパン)日本興亜リスクマネジメント)渡辺郁夫(販売制度室長)

損保ジャパン(8月1日) 理事・販売制度室長山本学▽企業商品業務部長長尾付特命部長(損保ジャパン)日本興亜リスクマネジメント)渡辺郁夫(販売制度室長)

損保ジャパン(8月1日) 理事・販売制度室長山本学▽企業商品業務部長長尾付特命部長(損保ジャパン)日本興亜リスクマネジメント)渡辺郁夫(販売制度室長)

損保ジャパン(8月1日) 理事・販売制度室長山本学▽企業商品業務部長長尾付特命部長(損保ジャパン)日本興亜リスクマネジメント)渡辺郁夫(販売制度室長)

12訂版

自賠責保険のすべて

伊藤文夫・佐野誠 編

●自賠責保険の制度と実務を包括的に解説する唯一無二の書籍。法律改正、制度改定、最新判例を反映させ大幅に加筆修正を施した最新版。

本書は、自賠責保険および自賠責共済についての実務的かつ理論的な解説書である。昭和60年に初版を発行して以来、多くの実務家、法曹関係者、研究者に受け入れられ、前回の2008年版まで11回にわたり改訂を重ねてきたが、今回から年版表記をあらため、12訂版として発行することにした。

6年ぶりの改訂となる本書では、斯界の権威である伊藤文夫先生と佐野誠先生が編者となり、損害保険料率算出機構および日本共済協会所属の方々の協力のもと、記載内容をアップデートするとともに、必要に応じて大幅に加筆した。

目次
第1章 自動車損害賠償保障制度
第2章 自賠責保険の契約から終了まで
第3章 事故発生から保険金支払まで
第4章 保険料率
第5章 自賠責共済
第6章 共同プールの事務
第7章 保障事業
第8章 自賠責保険審議会および金融審自賠責保険制度部会

●著者プロフィール
伊藤文夫(いとうふみお)
日本交通法学会理事、日本賠償科学会理事、日弁連交通事故相談センター評議員、前日本大学法学部教授
佐野誠(さのまこと)
福岡大学法科大学院教授、日本保険学会評議員、日本空法学会理事

2014年3月刊



●B5判・296頁
●定価(本体3,500円+税)
送料350円
ISBN978-4-89293-168-0